

人権週間の行事

☎ 人権啓発室 ☎ 63-7909

ふれ愛コンサート(入場無料)

日時 12月5日(日)午後1時30分～
場所 アドバンスコープADSホール(青少年センター/松崎町)



▼人権作品の表彰と朗読発表
▼ゴスペル・コンサート…ゴスペルの歴史から学ぶホントの自分を生かすためのヒントとは? ※申込不要

人権週間特設人権相談所を開設します

近所のもめごと、家庭内の問題、いじめや体罰、職場でのセクハラなど人権侵害に関する相談に、法務大臣の委嘱を受けた人権擁護委員が応じます。相談は無料で秘密はかたく守られます。

日時 12月7日(火)
午前10時～午後3時
場所 市民情報交流センター(希中央) ※申込不要

- 人権擁護委員(敬称略・順不同)
- 松崎 律子(下比奈知)
 - 北川 廣一(百合が丘西3)
 - 奥野 保三(大屋戸)
 - 國富 静代(つつじが丘南7)
 - 福田 悦子(上八町)
 - 福住 幸二(蔵持町原出)
 - 山本 佳世(桔梗が丘3)
 - 田畑 千代野(東田原)
 - 森嶋 秀和(赤目町柏原)
 - 植野 あさ子(桔梗が丘5)
 - 久原 宏(つつじが丘北10)

人権作品展

市内小・中・高校生、一般人権標語・ポスター、写真を展示します。
期間 12月3日(金)～12日(日)
場所 市役所ロビー、名張駅東西連絡通路

人権週間街頭啓発

日時 12月3日(金)午後4時30分～(一部午後2時30分～)
◎市内各大型店舗と名張駅、桔梗が丘駅周辺で啓発物品を配布します。

人権センターからのお知らせ ☎ 人権センター ☎ 63-0018 FAX 63-5326 HP http://www.emachi-nabari.jp/jinken

人権人材バンク登録者を募集中

同和問題、外国人、障害者、高齢者、女性、子ども、患者、アイヌなど少数民族の人権問題、プライバシー問題、人権行政・教育など、人権にかかわる諸課題の解決に、自らの経験や知識、熱意を生かしてみませんか(市内在住・在勤・在学の人)。

人権メッセージを募集中

- ★人権に対する思いを100字程度のメッセージにまとめたもの(形式自由)
 - ★自作、未発表のものに限ります。
 - 対象 市内在住・在勤・在学の人
- 応募 メッセージと、郵便番号、住所、名前(フリガナ)、電話番号を書いて、人権センターへ送付してください。
※随時受け付けています。

◎詳しくは人権センターのホームページをご覧ください。お問い合わせ先へ

いつものように仕事を終え、保育所に子どもを迎えに行ったある日のこと。担任の先生から、わが子が友達とケンカをしたことを聞きました。わたしはおおまかな状況だけを聞いて、ちようどその場にいた相手の親子に謝りました。子どもにも謝るようにながしました。でも、わたしは、わたしの関係をこじらせた、たかぬいという気持ちがあつたため、「とにかく謝らせなさい」と、子どもの話を聞いてあげられない自分がいました。同時に素直に謝れない子どもに、怒りの気持ちも湧き上がりました。

ケンカの原因は、先生の説明や子どもの様子から、相手の子にすることは推測できました。それでも、理由はともあれ、明日からも友達として仲良くできるように、素直に謝ってほしかったのです。そんな思いから、帰りの車の中でも「なんでごめんなさいが言えないの?と、繰り返していました。帰宅後、しばらくしてわたし自身も気持ちが落ち着き、もう一度、きちんと子どもと向き合おう

「いじわるのかわりに…」
「ぼくは悪くないのに、ママはなんで謝ってるの?」と、相手ののやりとりを見ていたかもしれません。もしわたしが子どもの立場であれば、必死になって事情を説明して「わたしは悪くない」と訴えていたに違いありません。どんなときでも、自分にとって一番の理解者・味方だと信じていたわたしに、受け入れてもらえなかったわが子の気持ちが伝わってきました。



わたしはもう何も言わずにぎゅっと抱きしめるしかありませんでした。子どもは小さな手で必死にわたしの胸にしがみつきました。「ママはいつでもあなたのこと大好きよ。」その気持ちを込めてもう一度しっかりと抱きしめました。

～人権尊重をくらしのなか～
ご意見・ご感想は人権啓発室(☎63-7909)へ

め、ケンカをしたときの思いを聴きました。子どもに「ママはぼくの事を分かってくれている」と感じてほしかったのですが、一度わたしの受け入れられなかったこともあり、かたくなに口を開こうとしません。



※「ひまわり」の掲載意図…同和問題をはじめ、子ども、女性、障害者、高齢者などさまざまな人権課題について考えるコーナーです(広報なばり毎月4週号に掲載)。原稿作成は市職員で構成する検討会議で行い、メンバーの日常生活での人権にかかわる出来事を記事としています。

ふるさと納税のご案内 頑張る「ふるさと名張」を応援してください

☎ 総合窓口センター「ふるさと納税ホットライン」 ☎ 63-7239

これまで市にご寄付いただいた総額と事業の種類	寄付金額
総額(25件)	4,641,886円
市民主権のまちづくり(住民主体のまちづくり)	30,000円
水と緑のまちづくり(自然環境の保全)	866,886円
子どもが輝くまちづくり(教育・子育て支援)	80,000円
歴史・文化のまちづくりと地域資源を生かしたまちづくり	325,000円
生涯現役のまちづくり(地域福祉・健康増進・スポーツ振興)	250,000円
ふるさと名張の未来に寄与する事業(都市基盤整備・病院他)	540,000円
指定なし(市長が寄付者に代わり事業を選択します)	2,550,000円

「ふるさと納税制度」は、「ふるさとを応援したい」、「ふるさとへ貢献したい」という納税者が、ふるさとだと思ふ地方公共団体に寄付を行った場合、個人住民税からその1割程度を上限として、寄付金額を控除する寄付金税制です。
名張市のまちづくりに共感を持つ皆さんやふるさと「名張」への想いを持つ皆さんのまちづくりへの参加手法として、「ふるさと納税制度」をご活用いただき、頑張る「ふるさと名張」への引き続きの応援をお願いします。
なお、これまで市にご寄付いただきました状況は左表のとおりです。応援ありがとうございます。